

# 優しい風の吹く街

北野さと子の市政レポート



ユニットF 宝塚

第42号 2014年 夏号



議会報告会 4/13

今議会で「宝塚市子どもの権利サポート委員会条例」が制定されました。これは私たちの会派が強く求めてきた、子どもの抱える問題に対応し、条例に基づく常駐の相談員と権利サポート委員が調査・勧告の権限をもつ独立した公的第三者機関です。兵庫県内では「川西市子どもの人権オンブズパーソン条例」に次いで2番目となります。

2014年11月施行。「子どもの権利条約」の積極的な普及や、一人ひとりの子どもの人権を尊重し「子どもの最善の利益」を確保するための実働を期待するところです。

## 活動報告～抜粋～

- 4/19 宝塚市60周年記念式典
- 4/26 だんじりパレード
- 4/25 手塚治虫記念館20周年セレモニー
- 5/13 人権研修会「変えていく勇気・性同一性障害の私から」
- 5/17 民主党自治体議員団会議（神戸）
- 5/17 宝塚学検定合格者のつどい
- 5/19 平和のつどい「あきらめない心」
- 5/21 民主党都道府県連男女共同参画担当者会議（東京）
- 5/22 部落解放・人権政策確立要求第一次中央集会（東京）
- 5/22 国会訪問（水岡俊一参議院議員）
- 5/23～6/27 宝塚市議会6月定例会
- 5/23 6区常任幹事会
- 5/24 阪神政策研究会（神戸）
- 5/25 宝塚市原爆被害者の会総会
- 6/7 宝塚市体育協会総会

### <文教生活常任委員会で可決・採択>

#### ◆議案63号

「宝塚市子どもの権利サポート委員会条例」

#### ◆請願34号

「豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願」

#### ◆請願35号

「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」

→34号35号ともに国への意見書を提出。

35号請願では、ろうあ協会・志方さんの手話による口頭陳述があり、手話通訳者の声による通訳が行われた。手話通訳は聞こえない人のためにあると思っていたが、そうではないことを認識することができた。

「手話言語法」の制定をめざしてともに頑張りたい。



5/15 予算特別委員会正副委員長インタビュー収録。  
(エフエム宝塚スタジオにて)

北野、宇都さん、東村さん、富川副委員長



## 1. 統一地方選挙に向けて

投票率アップのために、市民の選挙に対する関心を高める取り組みは。

### ◆米谷選挙管理委員会委員長

選挙は民主政治の基盤であり、選挙権は国民の最も重要な参政権であり、基本的な権利である。宝塚市明るい選挙推進協議会とともに、あらゆる機会を通じて政治意識の高揚や啓発に努めている。

市議会議員選挙においても、インターネットの利用による選挙運動が行われる。それに備えて、インターネット選挙に関する、啓発・周知はどのようにするのか。

### ◆米谷選挙管理委員会委員長

まだ馴染みがうすいこともあり、理解が十分とは言えないところもあると認識。説明会やHPを通じて周知に努める。

### <2次質問>

投票所に行きにくい人への配慮について、近隣の市の投票所において、性的マイノリティの人に対する人権侵害事案がおこった。選挙における人権尊重の取り組みの重要性は増している。「一人ひとりの選挙権」という政治に参加する大切な権利を守るためにすべきことは。

### ◆岩木選挙管理委員会局長

投票所のバリアフリー化を進めている。さらに、いわゆる内部障がいの方や生活弱者の方への配慮について事前説明し、投票しやすい環境づくりに努める。

## 2. 社会教育及び市民活動推進について

中央公民館の現状と、今後の展望について。閉館後の、利用者の学習機会保障と活動保障は。

### ◆中川市長

新築する施設のコンセプトや機能、規模について検討を進めており、現時点では、市立勤労市民センターのあるあたりを有力な候補地の1つと考えている。

### ◆井上教育長

中央公民館は非常に耐震性が低い建物であるので、利用者の安全確保を第一に考え早期に閉館したい。閉館中の活動場所のリストを配布し相談に応じている。

新しい中央公民館は、現中央公民館と同等の施設機能を確保し、それに加えて学習成果の発表や文化芸術創造・鑑賞の場としてのホール、市民交流スペースなど、多くの市民が利用しやすい施設となるよう検討していく。

### <2次質問>

中央公民館の企画・運営機能はどこにおくのか。

### ◆大西社会教育部長

中央公民館の職員が担ってきた公民館全体の事業の企画運営機能は継続する。事務室は未定。市民の学習を継続できるようにする。

勤労市民センターの現状と今後の展望について。中央公民館の閉館と、勤労市民センターの閉館を同時に行うということは、市民の社会教育の場と市民活動の場を同時に奪うことになる。

### ◆中川市長

中央公民館の耐震化対応の状況も考慮し、廃止の時期は柔軟に対応していく。

### ◆大西社会教育部長

中央公民館の職員が担ってきた公民館全体の事業の企画運営機能は継続する。市民の学習を継続できるようにする。

若者就労支援、生活困窮者就労支援、障がい者就労支援等々、本市における「就労支援事業」の実態は。さらに、豊中市における「CSW (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)」の取り組みの実績が、「豊中モデル」として、テレビドラマや雑誌で紹介されるなど、いま全国的に注目を集めている。学ぶべき点が多いと思うが、見解を。

◆山本産業文化部長

労働施策については「労働問題審議会」答申においても「就労支援」に重点をおくとなっている。さらに、豊中市のように個人に寄り添った就労支援を推進する「拠点が必要」と認識。

★北野意見★「市全体として『ライフセーフティネット』を構築する」という大きな目標を掲げて取り組んだ豊中市に学びたい。福祉部門と労働部門がしっかり連携してほしい。

### 3. いじめ・体罰に係る子どもの人権擁護事業について

宝塚市では、昨年4月から「いじめ・体罰に係る子どもの人権擁護事業」を行い、今年度の「子どもの権利サポート委員会条例」制定へと進んできた。子どもの人権擁護の成果と課題は。

◆中川市長

30件の相談があり、いじめが12件、体罰が8件、それ以外が10件であった。いじめ・体罰に限らず子どもの権利に関することとする必要がある。

<2次質問>

学校においてはさまざまな大人が教育に関わりサポートもおこなっている現状を踏まえ「ボランティア等における体罰も許されない」とガイドラインに明文化するべきではないか。

◆安井学校教育部長

それぞれのたくさんの方の助けをうけている。これまでも、指導について体罰はいけないと口頭で注意してきたが、いっそう体罰防止を進めるため、「啓発チラシ」を作成し配布する。宝塚市の学校から体罰がなくなるようにしていく。

★北野意見★「子どもの権利サポート委員会」の開設場所はプレミア宝塚とのことだが、子どもがこの人に相談してみようと思えるような「相談しやすい」「相談員の顔の見える」場所と、同時に、子どもの「秘密が守られ」「安心して相談できる」場所が必要である。そのような場所をきちんと確保するべきである。

### 4. 職員・教職員の健康管理とメンタルヘルスケアについて

不祥事に関する規律は徹底されたが、「職員の命を守る取り組み」はどう進められるのか。市をあげて全力で取り組むべきではないか。「労働安全衛生法」に基づく取り組みは。

◆中川市長

労働安全衛生法に定められた健康診断に加え市独自のがん検診や予防接種、産業医による健康相談、臨床心理士によるカウンセリング、安全衛生教育、心の健康問題への早期対応と職場復帰支援の手引き策定等。しかし、心の問題による休職者数は増加傾向。各種相談体制の充実を図り、所属長による早い段階での気づきや対応が、今以上に機能するように運用を見直し、問題を職員一人が抱えこまないようにしていくことが課題であると考えている。

◆井上教育長

県費負担教職員の心身ともに健康で児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動をさらに充実させるための「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」を進め、教職員の定時退勤日の実施や校務支援ソフトの導入による事務の効率化及び軽減を進めている。

## 「福島エクスカージョン」

視察研修報告 4/23・24

宝塚市議会議員有志で、福島学構築プロジェクト「福島エクスカージョン」に参加してきた。

東日本大震災から3年が経過。実際に福島と関わる個人・組織は減少。福島の実態を知り、福島への継続的な関わり方を発見することが目的。福島大学・うつくしま未来支援センター特任研究員の開沼博さんらの指導を受けながら各地を巡った。



①ら・ら・ミュウ（小名浜 いわき観光物産センター）

②アクアマリン水族館

震災後半年で再開し地域の復興シンボルゾーンに。クウェートからの支援で友好記念日本庭園もできた。

③沿岸部津波被災地

被災したまま手つかずの学校（岩手・宮城と決定的に違う・・・）

④いわき市役所「見せる課」 ～風評被害とのたたかい～

『農業の復興に向けた取り組み』

消費者自身が安全・安心を判断するための材料を提供する。

地元の職員との意見交換

⑤夜明け市場ワーキングスペース

福島にUターン若者が仕掛けた起業家支援

一人でも現地で活躍する人材を生み出したい！

⑥「ならは道の駅」

第一原発から20km。現在は双葉警察署臨時庁舎とハッピーロードネット事務所として使用。

「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」と震災後の被災者救助活動の紹介や20km圏内の立ち入り制限区域の見回りの実態を聴く。



⑦Jヴィレッジ（原発復旧拠点）

東京電力福島復興本社社長から説明を受け施設内を見学。サッカーナショナルトレーニングセンターであったJヴィレッジ。ここで車を乗り換え原発作業現場に向かう。

⑧富岡町

福島第一原子力発電所から10km。誰もいない「帰還困難区域」整然とした美しい街並みや街路樹。富岡駅はあの日そのまま。あまりの静けさに絶句・・・。私たちも短時間の滞在しか許されていない。

⑨楡葉町の除染廃棄物仮置き場

開沼先生のお話を聴く。



楡葉町 除染廃棄物仮置き場

福島エクスカージョンに参加した一人として、福島の後をしっかりと考え活動していきたい。

エクスカージョンとは…

従来の見学会や説明を受けるタイプの視察とは異なり、訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わし、専門家の解説を聞くと共に、参加者も現地での体験や議論を行い理解を深めていく「体験型の見学会」です。

## ユニットF宝塚

### 第31回『駅前議会』

- ◆日時 2014年8月10日（日）  
13:15～15:30
- ◆会場 宝塚ホテル東館2Fロゼの間
- ◆内容 ①6月議会の報告  
②意見交換
- ◆参加費 500円（珈琲代として）

みなさまのご参加お待ちしております。

◇発行人◇ 北野さと子  
◇連絡先◇  
〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209  
Tel&Fax 0797-73-4556  
ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>